

消防だより



消防団員募集!
私たちのまち彦根を守り続ける消防団活動にあなたの力を!

全国にうまくなく配備され、動員力、即応性に優れている消防団。地元の地理に明るく住民一人ひとりを知り、そこに暮らす団員だからこそ、いざという時に真っ先に駆けつけることができます。日ごろ職業を持ちながら、「自分のまちは、自分で守る」という精神に基づき、火災などの災害から地域を守るリーダー、それが消防団です。

近年、就業形態の変化や少子化などの影響から新たな消防団員の確保が地域によって難しくなってきた状況にありますが、消防団がなければ地域は災害と闘えません。地域の守り手として多くの人が

女性消防団員も活躍中



消防団員の年齢層は幅広く、また自営業者・会社員など仕事をしている人、学生などさまざまな人の集まった仲間です。特に最近では女性の参加も増えています。



消防団はわたしたちの身近なHERO

災害掲示板

	平成22年1~3月末までの件数	昨年 同期	平成 21年中
火災件数	15件	7件	47件
救急件数	1,158件	1,167件	4,832件
救助件数	9件	10件	50件



▲消防団協力事業所表示証 (社会貢献企業としての証)

消防団協力事業所表示制度をご存知ですか

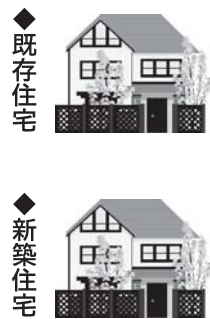
事業所の社会貢献・信頼性の向上・イメージアップを図りませんか

彦根市消防団協力事業所表示制度は、消防団に入団している従業員が2人以上いる事業所や、消防団の訓練場所、災害の発生時などに事業所の資機材などを提供するなど、彦根市消防団に積極的に協力している事業所などに消防団協力事業所表示証を交付する制度です。

認定を受けると、地域での社会貢献をしている協力事業所として彦根市ホームページに掲載します。地域住民やほかの事業所に広く活動を周知し、理解を深めることができ、事業所のイメージアップにつながります。多くの事業所の参加をお待ちしています。

消防団・消防団協力事業所表示制度の問い合わせ先 消防総務課 ☎22-0314番 FAX22-9427番

お住まいに住宅用火災警報器を設置されましたか?



既存住宅は平成23年5月31日までに設置が必要です

設置義務化の開始

平成23年6月1日

新築住宅は平成18年6月1日から設置が義務化されています



Brasilia ようこそ!



第10回 5月の運動会

研修の帰り、何気なく駅弁を手にし、食べていると運動会のことを思い出しました。

日本と季節が逆であるブラジルではよく5月に運動会が開かれ、学生時代には、秋とはいえ、もう肌寒いなか、ラジオ体操をTシャツ一枚で行った記憶があります。

それでも、おにぎりに梅干、鶏のから揚げ、玉子焼きに漬物のお弁当を食べるのが大好きでした。

ブラジルのカレンダーでは、5月1日は「労働感謝の日」であり、私の住んでいたドウラードスでは、よくその日にあわせて運動会をやっていました。また、同じ5月には、日本の「子どもの日」を祝う習慣もあることから、我が町の運動会の会場では、こ

いのぼりも飾られていました。日本人会主催のこの行事に参加できていたのは、会員と日本語学校に勉強していた学生のみでした。

ところが、年々参加者が減り、もうやめようかという話になっていたときに、町のイベントにすればという提案があり、非会員でも参加できるようになりました。

やむを得ず形が変わった運動会ですが、今ではポルトガル語にある *Gincana* という言葉ではなく、日本語の「Undoukai」として知られています。

今年も、こののぼりが空高く泳ぎ、それを眺めながら、ドウラードス市民はお弁当を食べていることでしょう。【彦根市国際交流員 平田エジナ】



市立病院の診療科を紹介します

緩和ケア科は、がんに伴うさまざまな症状を軽減することを目的とした科です。痛みや体のたるさ、食欲の低下といった身体症状はもちろんのこと、がんとこの病気に対する不安や今後のことへの心配など、心理的な苦痛症状にも積極的に対応しています。また、医者に「もう治療法はありません」と言われ、落ち込んでいる患者さんも少なくありません。そんな患者さんの中には「まだあきらめたくない、何とかならないものか」と真剣に悩んでいる人もいます。そのような患者さんに対して、その人にあった代替療法を紹介し、希望を持ち続けていただくという取り組みもしています。

入院が必要になった場合には緩和ケア病棟(8B病棟)に入院していただきます。ここはすべて個室であり、一般の病棟よりもかなり自由度が高いのが特徴です。面会時間に制限がない

病院をのぞいてみよう

緩和ケア科

市立病院企画経営課 ☎22-60500番 FAX26-0754番



いとが、家族が部屋に泊まりやすい、犬などのペットを持ち込むこともできるといった、さまざまな点で、ほかでは味わえない居心地のよさを体験していただけたらと思います。

さらに病棟には専門的な各種セラピストのボランティアも定期的に来られ、アロマセラピーやマッサージ、リフレクソロジー(足裏ツボ押し)、ヒーリングタッチ、カラーセラピー、アニマルセラピー、音楽療法、レインボー療法(先のとがった鋭い鍼による療法)などの代替療法を経験することもできます。

このように、通常の病院やほかの病棟では経験できない取り組みをしているというのが当院緩和ケア科の特徴です。がんの患者さんやその家族であれば、ごなたでも利用することができます。すべて予約診療になっていますので、受診を希望する場合は予約をいただいたうえで指定日にお越しください。